



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月9日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL http://www.furuyametals.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榎田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績（2018年7月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	17,162	5.4	3,933	55.3	3,969	56.6	2,438	38.3
2018年6月期第3四半期	16,287	-	2,532	-	2,535	-	1,763	-

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 2,430百万円 (37.9%) 2018年6月期第3四半期 1,762百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	352.84	351.22
2018年6月期第3四半期	245.54	244.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	27,311	13,776	50.1
2018年6月期	22,382	17,334	77.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 13,684百万円 2018年6月期 17,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	-	0.00	-	100.00	100.00
2019年6月期	-	0.00	-	-	-
2019年6月期（予想）	-	-	-	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,982	△1.0	4,856	41.3	4,856	40.7	2,980	25.4	431.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3Q	7,265,212株	2018年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	1,083,569株	2018年6月期	83,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3Q	7,265,212株	2018年6月期3Q	7,265,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な米国経済、企業の積極的な設備投資、円安傾向などを背景に、前半は緩やかな回復傾向が続きましたが、米中貿易摩擦の激化やスマートフォンの販売不振の影響が徐々に顕在化し始め、昨年末から減速感が増してきました。

このような経済環境の中、銀合金ターゲットは好調に推移し、有機EL向けや電極向けの貴金属原料・化合物、HD向けルテニウムターゲットの受注は堅調に推移していたものの昨年末以降軟調となり、I rルツボや半導体製造装置メーカー向け温度センサーの受注は顧客の生産調整・出荷調整を受けて軟調な受注状況が続きました。また一部貴金属の上昇と不足感を背景に顧客による前倒し購入があり、売上高・利益ともに影響を受けました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高17,162百万円(前年同四半期比5.4%増)、売上総利益5,556百万円(前年同四半期比33.0%増)、営業利益3,933百万円(前年同四半期比55.3%増)、経常利益3,969百万円(前年同四半期比56.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,438百万円(前年同四半期比38.3%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりです。

①セグメント別の業績

[電子]

米国向けの単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、ガラス溶解装置向け白金製品の受注は堅調に推移しましたが、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注は顧客の長期的な生産調整の影響で低調に推移し、売上高2,803百万円(前年同四半期比36.8%減)、売上総利益900百万円(前年同四半期比11.6%減)となりました。

[薄膜]

HD向けルテニウムターゲットの受注は昨年末以降鈍化したものの概ね堅調に推移し、スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注も好調に推移しました。また、一部貴金属の価格上昇もあって、売上高7,665百万円(前年同四半期比67.7%増)、売上総利益2,501百万円(前年同四半期比136.4%増)となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーの出荷調整の影響に加え、海外半導体メーカーからの受注も鈍化しており、売上高1,632百万円(前年同四半期比10.9%減)、売上総利益456百万円(前年同四半期比21.6%減)となりました。

[ケミカル]

昨年末から減速感が見られたものの有機EL向け及び電極向けの貴金属原料・化合物の受注が堅調で、触媒の受注も堅調だったことに加え、一部貴金属の価格上昇や不足感からの前倒し受注が加わり、売上高4,938百万円(前年同四半期比6.8%減)、売上総利益1,671百万円(前年同四半期比12.4%増)となりました。[電子]

②海外売上

当第3四半期累計期間における輸出売上高は8,604百万円(総売上高に占める割合は50.1%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高5,435百万円(海外売上高に占める割合は63.2%)、北米向け輸出売上高1,946百万円(海外売上高に占める割合は22.6%)、欧州向け輸出売上1,222百万円(海外売上高に占める割合は14.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は17,273百万円となり、前連結会計年度末比3,731百万円増加いたしました。これは現金及び預金が848百万円減少しましたが、たな卸資産が4,865百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は10,038百万円となり、前連結会計年度末1,197百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1,462百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債残高は11,144百万円となり、前連結会計年度末比8,303百万円増加いたしました。これは買掛金が2,745百万円、短期借入金が5,300百万円、未払法人税等が320百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債残高は2,391百万円となり、前連結会計年度末比184百万円増加いたしました。これは長期借入金が122百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は13,776百万円となり、前連結会計年度末比3,558百万円減少いたしました。これは利益剰余金が1,720百万円増加しましたが、自己株式が5,300百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年2月7日付「2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,068	2,220
受取手形及び売掛金	3,065	3,007
商品及び製品	321	676
仕掛品	977	852
原材料及び貯蔵品	5,168	9,803
その他	939	712
流動資産合計	13,541	17,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,184	2,184
機械装置及び運搬具(純額)	3,747	3,609
土地	1,612	1,724
リース資産(純額)	25	60
建設仮勘定	82	1,530
その他(純額)	45	50
有形固定資産合計	7,697	9,159
無形固定資産	60	56
投資その他の資産		
投資有価証券	37	32
繰延税金資産	950	684
貸倒引当金	△2	△1
その他	96	107
投資その他の資産合計	1,082	822
固定資産合計	8,840	10,038
資産合計	22,382	27,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	464	3,209
短期借入金	—	5,300
未払法人税等	604	925
賞与引当金	265	127
1年内返済予定の長期借入金	780	787
その他	726	794
流動負債合計	2,840	11,144
固定負債		
長期借入金	1,285	1,407
退職給付に係る負債	484	508
資産除去債務	16	25
その他	420	449
固定負債合計	2,206	2,391
負債合計	5,047	13,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	6,656	8,377
自己株式	△252	△5,552
株主資本合計	17,263	13,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	2
為替換算調整勘定	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	7	0
新株予約権	63	92
純資産合計	17,334	13,776
負債純資産合計	22,382	27,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	16,287	17,162
売上原価	12,108	11,606
売上総利益	4,178	5,556
販売費及び一般管理費	1,645	1,622
営業利益	2,532	3,933
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ評価益	2	4
為替差益	—	19
助成金収入	29	26
その他	7	4
営業外収益合計	39	55
営業外費用		
支払利息	14	13
固定資産除却損	5	4
為替差損	14	—
その他	3	0
営業外費用合計	36	19
経常利益	2,535	3,969
税金等調整前四半期純利益	2,535	3,969
法人税、住民税及び事業税	483	1,265
法人税等調整額	288	265
法人税等合計	771	1,530
四半期純利益	1,763	2,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,763	2,438

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,763	2,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△10
為替換算調整勘定	△7	2
その他の包括利益合計	△1	△7
四半期包括利益	1,762	2,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,762	2,430
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,300百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,552百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,433	4,569	1,831	5,301	16,135	151	16,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,433	4,569	1,831	5,301	16,135	151	16,287
セグメント利益	1,017	1,058	582	1,486	4,145	33	4,178

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、当第3四半期連結累計期間損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,803	7,665	1,632	4,938	17,040	122	17,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,803	7,665	1,632	4,938	17,040	122	17,162
セグメント利益	900	2,501	456	1,671	5,529	26	5,556

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、当第3四半期連結累計期間損益計算書の売上総利益と一致しております。

3. その他

(たな卸資産の固定資産振替)

当社は、従来より固定資産に計上している貴金属加工品に関連し、加工工程内に残存する貴金属地金の管理が可能となる生産管理システムを試験的に運用してまいりましたが、第1四半期において工程内地金の正確な重量管理が可能となったものと判断し、固定資産への振替を行いました。

これにより、「仕掛品」が1,304百万円減少し、「建設仮勘定」が1,304百万円増加しております。